

議会を傍聴して



下平川公民会
今村 哲朗さん

町議会の最後の意義ある議会とあって、鶴田町の友人と議会を傍聴した。今度の議会には、傍聴者も多いのではないかと期待していたが、一〇名足らずでその中にはOBの方や集落の役員らしい方も見えた。

議会では、八名の方の議員の一般質問があったが、議員の説明にもそれぞれ個性があり、質問の主旨も大事なことに変わりはなく、もう少し内容を簡潔にできないものか等、時間的に少し惜しい気がした。

三町合併問題については、何かもう少し踏み込んだ質問、そして、やりとりを期待していたが、やや物足りなさを感じた。

また、いつも「議会だより」を見るにつけ、思うことだが、町が今まで実施してきたソフト事業等について、どう変わったのか、検証してみてもどうか。このようなやりとりもあって、よいのではないかと思つた。

傍聴して特に感じたことは、傍聴者の少ないことであるが、傍聴した方々が異口同音に「議論の物足りなさ」を指摘されているが、このことも傍聴者の少ない原因ではないかと思う。

また、年一回くらいは、集落の役員の方でも、傍聴してみても、どんなものか、このような感じがした。

さて、三月二十二日、いよいよ三町が合併し、「さつま町」が誕生する。その後新しい町長、町議会議員二十八人が選出されることになる。

議会では、それぞれ地域の思惑もあり、活発な意見が交わさ

れると思う。今までの議会とは違い、地域にとらわれない、広い視野に立った議会であってほしい。

そして、町民共通の願いである「合併してよかつた」と実感できるような町づくりに向けての議論の場になることを、町民の一人として大いに期待したい。

あなたも議会を傍聴しませんか

3月定例会は、合併期日が迫っていることもあり、早めの開催になるかもしれません。日程等は事前にお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

町民の皆さん、明けましておめでとございます。実質的には最後の審議となる十二月定例会も無事に終わり、「議会だより」も、今回が最終号になるものと思われまふ。議会だよりも、議会の審議内容等をお知らせするため、先輩方の手による昭和五十七年の発行から二十二年来迎えました。

昨年は、日本各地で台風・地震等の自然災害に見舞われる等、異常気象の年でありました。また、本町にとって町制五〇年という節目の年でもあり、各種記念行事も、盛会に終わったところでもあります。

さて今、三月二十二日の合併まで残りわずかとなり、新「さつま町」発足に向けての諸準備が、粛々と進められております。新町のスムーズな船出と、輝く新町づくりに向け、みんなが気持ちをも一つにして、がんばっていきましょう。長い間ご愛読、ありがとうございます。

議会広報編集委員会

- 委員長 内田 芳博
- 副委員長 別府 静春
- 委員 柳田 隆男
- 山崎 文久
- 肥後 紀康
- 久保 克己